

一企画一 インタビューコーナー

第2回 群馬県生活文化スポーツ部長 本多悦子さんに聞く

前号からスタートしたインタビューコーナー。「男女共同参画社会の実現を目指し、さまざまな立場で活躍している人」をシリーズで紹介しています。

2回目となる今回は、群馬県生活文化スポーツ部長である本多悦子さんにお話を伺いました。



一部長に就任されて半年が経過しました

生活文化スポーツ部は、今年度から「スポーツ」の分野が加わり、「生活」と「文化」と「スポーツ」の3つの分野を所管する部になりました。私は、3という数字から、三角形（トライアングル）をイメージしました。ぐんま男女共同参画センターの愛称は、「とらいあんぐるん」ですが、この愛称を決定した際に、参画と三角（△）の語呂合わせや県民・団体・行政の3者の協調といった意味のほか、三角形は最も頑丈な構造体といった理由もありました。生活文化スポーツ部でも、3つの分野はそれぞれ異なりますが、県民の生活に近い所で3つの分野が一緒にやっていくことで、実は繋がり強い部になれるのではないかと考えています。

これまで様々な立場から男女共同参画に関わってこれたと思います

最初の関わりは、「ぐんまウィメンズ・ネット」発足の頃（平成9年）です。

所属は、県民生活課女性政策室でした。男女共同参画社会基本法（平成11年）の制定前ということもあり、「女性政策」や「男女平等」という言葉が使われていた時代です。今では、ごく自然に「参画」という言葉が使われていますが、法律制定により、「男女共同参画」という言葉が急に出来た感じで、「参画」という言葉は耳慣れないという印象を持っていました。

「ぐんま男女共同参画プラン（平成13年）」の策定にも関わりました。法律や国の基本計画（平成12年）ができて最初のプランということもあり、男女共同参画の立場から新しい視点を入れようと、それまでの「新ぐんま女性プラン」等を踏襲せずゼロから策定しました。検討は、「新ぐんま女性プラン委員会」の提言（平成12年）を基に、ワーキング・グループを設けて進めました。この頃は、係長クラスの職員に出てもらおうとほとんど男性であったため、女性職員を公募し、女性だけのワー

キング・グループも作りました。

2回目の関わりは、平成15年から女性会館内の「女性相談支援室」に派遣された3年間で、ぐんま男女共同参画センターが3回目の関わりとなります。思い返してみると、法律ができ、それを根拠に推進できるようになったのが、とてもよかったと思っています。少しずつではありますが、参画率や女性の活躍が推進している感触を持っています。

センターに望むことは

センターは民間の方と顔を合わせる機会が多いと思うので、そのつながりを大切にしてほしいと思います。利用者であったり、団体であったり、市町村であったり、大学であったり。誰かとつながって連携していけば、無限につながっていくことができます。そういった人たちとのつながりを大切に、相手の強みを生かしつつ、ゆるやかに、しなやかにやっていってもらえればと思っています。

群馬県男女共同参画行政のあゆみ（最近の主なもの）

- 昭和54年 婦人児童課に婦人対策係設置
- 昭和55年 「新ぐんま婦人計画」策定
- 平成5年 「新ぐんま女性プラン」策定
- 平成6年 県民生活課に女性政策室設置  
「群馬県女性人材データベース」の構築
- 平成9年 「ぐんまウィメンズ・ネット（～23年）」発足
- 平成11年 「男女共同参画社会に関する県民意識調査」実施
- 平成12年 新ぐんま女性プラン委員会提言
- 平成13年 「ぐんま男女共同参画プラン」策定  
女性政策室を男女共同参画室に改称  
「群馬県男女共同参画推進協議会」の設置
- 平成14年 人権男女共同参画課設置
- 平成15年 群馬県女性会館内に「女性相談支援室」を設置
- 平成16年 「群馬県男女共同参画推進条例」制定  
「群馬県男女共同参画推進委員会」設置
- 平成18年 「群馬県男女共同参画基本計画（第2次）」策定
- 平成21年 「群馬県女性会館」閉館  
「ぐんま男女共同参画センター」開館  
「男女共同参画社会に関する県民意識調査」実施
- 平成23年 「群馬県男女共同参画基本計画（第3次）」策定



群馬県生活文化スポーツ部長 本多悦子さん

事業報告 1

再就職支援セミナーを開催しました。

7月4日（木）、5日（金）に、ぐんま男女共同参画センターにおいて、2回連続講座「女性の再就職支援セミナー」を開催しました。

厚生労働省の最近の調査では、結婚前に就業していた女性のうち約3割が結婚を機に離職し、第1子出産でさらに約4割が離職するという結果が出るなど、出産や子育て、介護などで多くの女性が離職している状況があります。そこで当センターでは、就職活動中、またはこれから働こうと考えている女性を対象に、再就職を支援することを目的としたセミナーを開催しています。

今回は26人が受講。専門家2人を講師に迎え、再就職のための心構えや再就職プランづくり手順のほか、応募書類の作成方法、再就職のためのビジネスマナーを2日間にわたって学びました。

7/4（木）

『自分の持ち味を知る・応募書類はこう作る』  
講師：飯塚俊男さん（キャリアコンサルタント）



7/5（金）

再就職のためのビジネスマナー  
講師：清水由美さん（企業研修講師・ロコプロモーション代表）



↑託児のようす

事業報告 2

登録団体の交流会を行いました。

7月26日（金）に、ぐんま男女共同参画センターにおいて、センターに登録している団体の交流会を開催しました。

当日は、29団体中24団体から計34人が参加。出席団体による自己紹介のほか、和やかな雰囲気の中、活発な意見交換が行われました。参加者からは、登録団体同士は日頃なかなか顔を合わせる機会が少ないのでいろいろな団体が集まっていることがよくわかったと好評で、今後も継続して開催することとして、会は終了しました。

\*「登録団体制度」とは、男女共同参画社会の形成に向けた活動をしている団体を支援する制度で、登録をすると研修室の優先予約や使用料減額、男女共同参画に関する情報提供などが受けられます（登録料無料）。

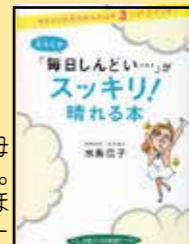


図・書・紹・介

●当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。  
【貸出しのお約束】・一人5冊まで ・期限：2週間 ・利用時間：9時～17時



『母さんがどんなに僕を嫌いでも』  
歌川たいじ/エンターブレイン 1,050円（税込）  
◆新人漫画家の著者が実母との葛藤、生い立ちを吐露。ブログ『おみげいす、ほぼ夫婦です』では同性パートナーとの生活を綴り人気を博している。



『毎日しんどい…がスッカリ！ 晴れる本』  
水島広子/三笠書房 1,365円（税込）  
◆イライラに振り回されないで！心を落ち着かせる「3つのキーワード」とは。自分の心を整理すればいつもスッカリ笑顔でいられそう！



『息子介護』  
鈴木宏康/筒井書房 1,260円（税込）  
◆40歳シングル男性が認知症の母を介護する！福祉、病院も助けてくれない孤立無援な絶望の日々。仕事も満足に出来なくなり…。